

令和 8 年 9 月 2 4 日

交 通 事 故 概 況

令和 8 年 8 月 末 計 上 数 (確 定 数)

警 察 本 部 交 通 部 交 通 企 画 課

北海道の交通事故概況（8月末計上数（確定数））

1 令和8年8月末の交通事故発生状況

区分\内容	8月中	前年比	8月末	前年比
発生件数（件）	733	29	5,835	617
死者数（人）	17	3	66	-7
傷者数（人）	881	45	6,913	863

[過去10年、8月末の推移]

区分\年別	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	過去平均		R8年
											10か年	5か年	
8月中死者数	13	14	17	16	16	12	11	16	16	14	15	14	17
8月末死者数	88	89	92	85	85	78	67	80	68	73	81	73	66
年間死者数	158	148	141	152	144	120	115	131	104	129	134	120	

都道府県別（8月中）

順位	1	2	3	4
都道府県名	北海道	神奈川	兵庫	千葉 大阪
死者数	17	9	8	7 7

都道府県別（8月末）

順位	1	2	3	4	5	8
都道府県名	神奈川	愛知	東京	兵庫	千葉	北海道
死者数	86	81	80	78	77	66

2 交通死亡事故の発生状況（主なもの）

(1) 8月中の死亡事故（死者17人）

- 事故類型別：正面衝突が6人(35.3%)が車両単独4人(23.5%)
- 道路別：国道が11人(64.7%)、道道が5人(29.4%)
- 地形・道路形状別：非市街地カーブが7人(41.2%)、市街地交差点が4人(23.5%)
- 発生時間別：20～22時が4人(23.5%)、6～8時が3人(17.6%)
- 第一当事者年齢別(1当原付以上)：50歳代運転者、高齢運転者が各々4人(23.5%)
- 第一当事者違反別(1当原付以上)：前方不注意が8人(47.1%)
- 死者年齢別：高齢者の死者が8人(47.1%)、50歳代が死者が3人(17.6%)

(2) 8月末の死亡事故（死者66人）

- 事故類型別：
 - ・人対車両が20人30.3%（うち前方不注意が8人40.0%、歩行者妨害6人30.0%）
 - ・車両単独が19人28.8%（うち操作不適、前方不注意が各々4人21.1%）
- 道路別：
 - ・国道が30人45.5%（うち正面衝突が9人30.0%、人対車両、車両単独が各々6人20.0%）
 - ・道道が16人24.2%（うち車両単独が7人43.8%、人対車両が3人18.8%）
 - ・市町村道が15人22.7%（うち人対車両が9人60.0%、車両単独が3人20.0%）
- 地形・道路形状別：
 - ・市街地交差点が21人31.8%（うち人対車両が10人47.6%、出会い頭が3人14.3%）
 - ・市街地直線が14人21.2%（うち人対車両が8人57.1%、車両単独が4人28.6%）
- 発生時間別：
 - ・20～22時が10人15.2%（うち車両単独が5人50.0%、正面衝突が2人20.0%）
 - ・8～10時が8人12.1%（うち車両単独が5人62.5%）
 - ・18～20時が8人12.1%（うち人対車両が7人87.5%）
- 第一当事者年齢別：（1当原付以上）
 - ・高齢運転者による死者が19人28.8%（うち車両単独が7人36.8%、正面衝突が5人26.3%）
 - ・50代運転手による死者が14人21.2%（うち人対車両が4人28.6%、出会い頭、車両単独が各々3人21.4%）
- 第一当事者違反別：（1当原付以上）
 - ・前方不注意が19人28.8%（うち人対車両が8人42.1%、正面衝突が5人26.3%）
 - ・操作不適が8人12.1%（うち車両単独が4人50.0%、正面衝突が3人37.5%）
- 死者年齢別：
 - ・高齢者の死者が35人53.0%（うち人対車両が15人42.9%、車両単独が9人25.7%）
 - ・50歳代の死者が10人15.2%（うち出会い頭、車両単独が各々3人30.0%）
- シートベルト非着用者：
 - 自動車（二輪を除く）乗車中の死者37人中、シートベルト非着用者は17人(45.9%)であり、その14人(82.4%)がシートベルトを着用していれば助かった可能性が高い。
- 7月末30日死者：
 - 歩行者が6人、4輪乗車中、自転車乗車中が各々1人交通事故発生後24時間以上30日以内に死亡している。

(3) 方面別発生状況

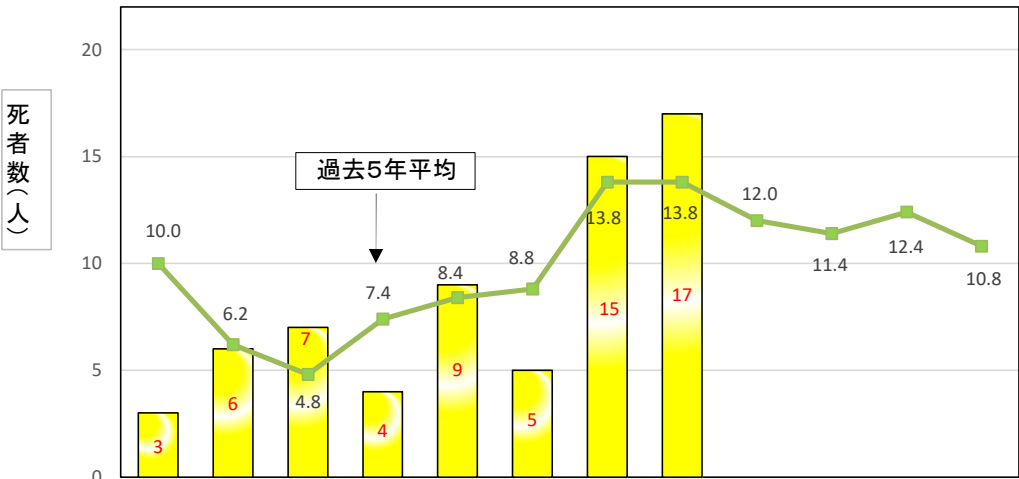
8月中の死者数は、札幌方面が8人(47.1%)、函館方面、釧路方面が各々4人(23.5%)、北見方面が1人(5.9%)となっている。
8月末の死者数は、札幌方面が37人(56.1%)、釧路方面12人(18.2%)、函館方面が8人(12.1%)、旭川方面が6人(9.1%)、北見方面が3人(4.5%)となっている。

方面別\区分		発生件数	前年比	死者数	前年比	傷者数	前年比
8月中	全道	733	29	17	3	881	45
	札幌方面	542	52	8	5	651	58
	函館方面	52	-8	4	4	68	-6
	旭川方面	62	1			76	1
	釧路方面	59	-9	4	-2	59	-12
	北見方面	18	-7	1	-4	27	4

方面別\区分		発生件数	前年比	死者数	前年比	傷者数	前年比
8月末	全道	5,835	617	66	-7	6,913	863
	札幌方面	4,383	584	37	5	5,192	785
	函館方面	372	9	8	4	462	22
	旭川方面	531	51	6	-1	635	79
	釧路方面	414	-16	12	-6	455	-29
	北見方面	135	-11	3	-9	169	6

(4) 月別発生状況の推移

8月中の死者数は17人で過去5年平均13.8人を上回っている。
8月末の死者数は66人で過去5年平均73.2人を下回っている。



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和8年	3	6	7	4	9	5	15	17					66
年間累計	3	9	16	20	29	34	49	66					
過去5年平均	10.0	6.2	4.8	7.4	8.4	8.8	13.8	13.8	12.0	11.4	12.4	10.8	119.8
累計平均	10.0	16.2	21.0	28.4	36.8	45.6	59.4	73.2	85.2	96.6	109.0	119.8	

(5) 都道府県別死者数

8月中は北海道が17人で最も多く、次いで神奈川県が9人、兵庫県が8人、千葉県、大阪府、福岡県、埼玉県、福島県が各々7人となっている。

8月末は神奈川県が86人で最も多く、次いで愛知県が81人、東京都が80人、兵庫県が78人、千葉県が77人で北海道は66人で8位となっている。

区分\都道府県	北海道	神奈川	兵庫	千葉	大阪	福岡	埼玉	福島	愛知	東京	全国
8月中死者数	17	9	8	7	7	7	7	7	6	6	167
ワースト順位	1	2	3	4	4	4	4	4	9	9	—
前年比	3	1	-3	0	-1	3	1	3	-5	-5	-36
増減率(%)	21.4	12.5	-27.3	0.0	-12.5	75.0	16.7	75.0	-45.5	-45.5	-17.7

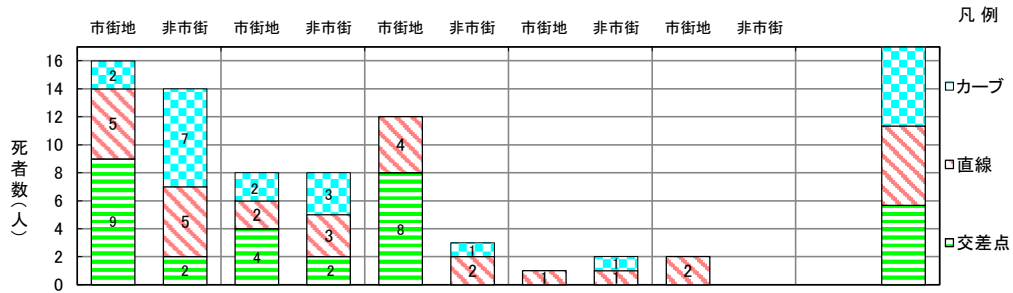
区分\都道府県	神奈川	愛知	東京	兵庫	千葉	茨城	大阪	北海道	福岡	埼玉	全国
8月末死者数	86	81	80	78	77	74	69	66	61	61	1,549
ワースト順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	9	—
前年比	3	12	-5	18	4	25	-7	-7	11	-7	0
増減率(%)	3.6	17.4	-5.9	30.0	5.5	51.0	-9.2	-9.6	22.0	-10.3	0.0

3 7月末の死亡事故の特徴

(1) 道路別

国道が30人(45.5%)、道道が16人(24.2%)、市町村道が15人(22.7%)となっている。

- ・ 国道は、市街地交差点が9人(30.0%)、非市街地カーブが7人(23.3%)
- ・ 道道は、市街地交差点が4人(25.0%)、非市街地直線、非市街地カーブが各々3人(18.8%)
- ・ 市町村道は、市街地交差点が8人(53.3%)、市街地直線が4人(26.7%)

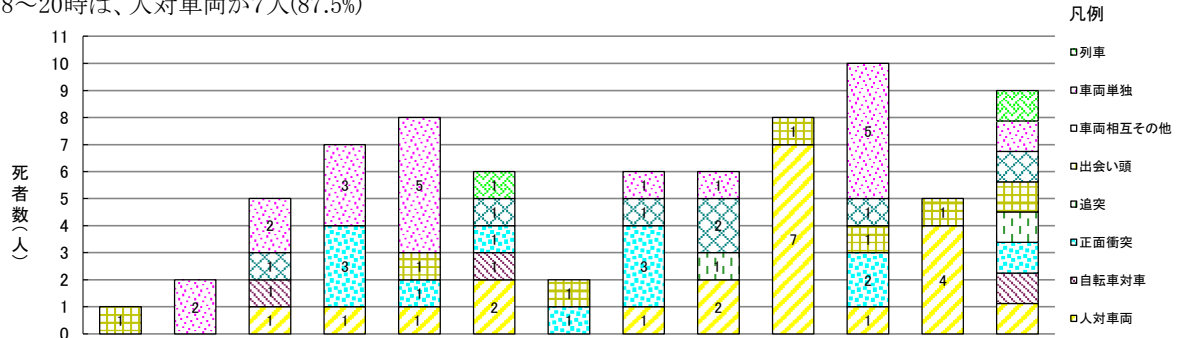


区分\道路別	国 道	道 道	市町村道	高速道路	その他の道路	計
死 者 数	30	16	15	3	2	66
構 成 率 (%)	45.5	24.2	22.7	4.5	3.0	100.0
過去5年構成率	36.7	24.2	29.0	3.0	7.1	100.0

(2) 時間別

20～22時が10人(15.2%)、8～10時、18～20時が各々8人(12.1%)となっている。

- ・ 20～22時は、車両単独が5人(50.0%)、正面衝突が2人(20.0%)
- ・ 8～10時は、車両単独が5人(62.5%)
- ・ 18～20時は、人対車両が7人(87.5%)

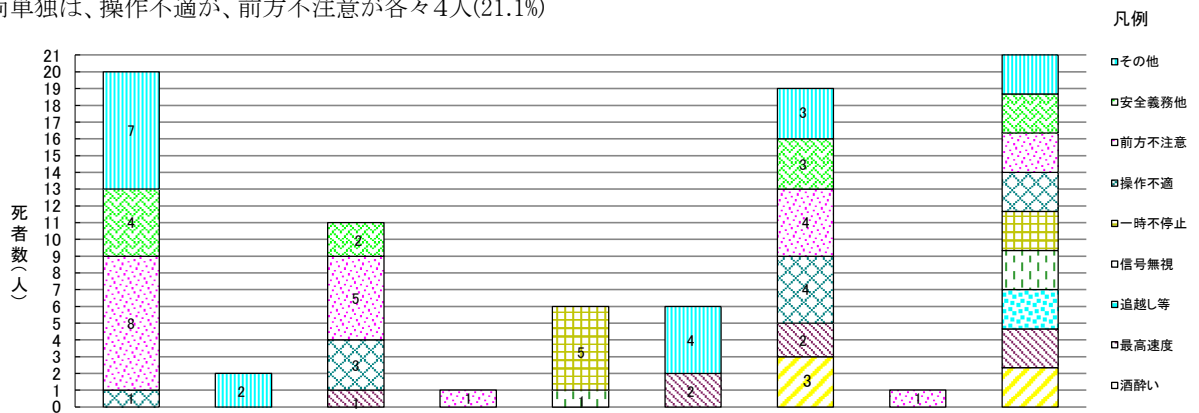


区分\時間別	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	計
死 者 数	1	2	5	7	8	6	2	6	6	8	10	5	66
構 成 率 (%)	1.5	3.0	7.6	10.6	12.1	9.1	3.0	9.1	9.1	12.1	15.2	7.6	100.0
過去5年構成率	2.4	2.4	5.4	8.8	11.4	14.8	14.8	11.4	9.8	8.4	6.7	3.7	100.0

(3) 事故類型別

人対車両が20人(30.3%)、車両単独が19人(28.8%)となっている。

- ・ 人対車両は、前方不注意が8人(40.0%)、その他(歩行者妨害を含む)が7人(35.0%)
- ・ 車両単独は、操作不適が、前方不注意が各々4人(21.1%)



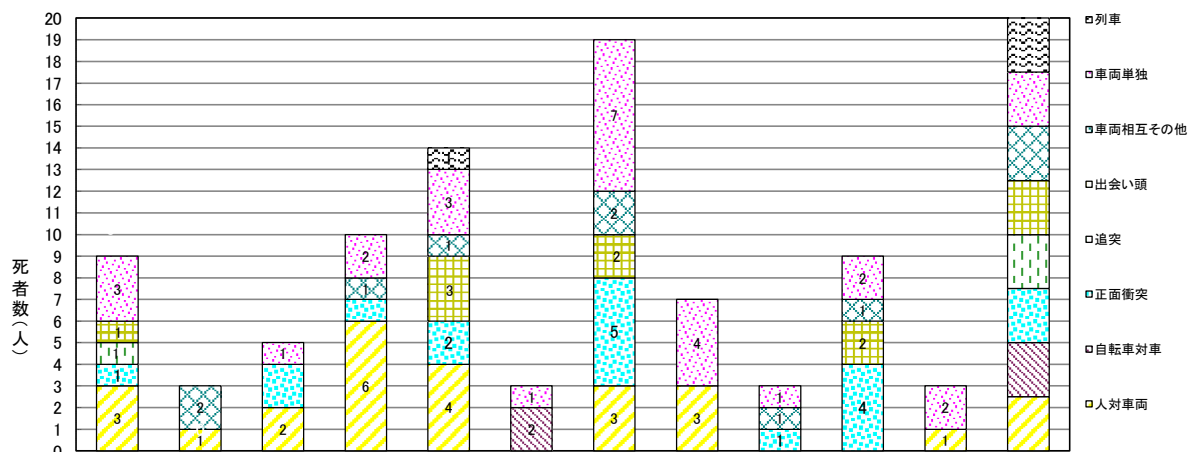
区分\類型別	人対車両	自転車対車	正面衝突	追 突	出会い頭	その他	車両単独	列 車	計
死 者 数	20	2	11	1	6	6	19	1	66
構 成 率 (%)	30.3	3.0	16.7	1.5	9.1	9.1	28.8	1.5	100.0
過去5年構成率	28.3	4.0	21.9	1.0	8.4	3.0	32.7	0.7	100.0

(4) 第一当事者の年齢層別:

高齢運転者が19人(28.8%)、50歳代の運転者が14人(21.2%)

- ・ 高齢運転者は、車両単独が7人(36.8%)、正面衝突が5人(26.3%)
- ・ 50歳代運転者は、人対車両が4人(28.6%)、出会い頭、車両単独が各々3人(21.4%)

凡例



区分\年齢別	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	65～69歳	70～74歳	75歳以上	歩行者等・不明	計
死者数	9	3	5	10	14	3	19	7	3	9	3	66
構成率(%)	13.6	4.5	7.6	15.2	21.2	4.5	28.8	10.6	4.5	13.6	4.5	100.0
過去5年構成率	7.4	4.0	6.1	17.2	15.5	8.8	34.7	11.8	9.1	13.8	6.4	100.0

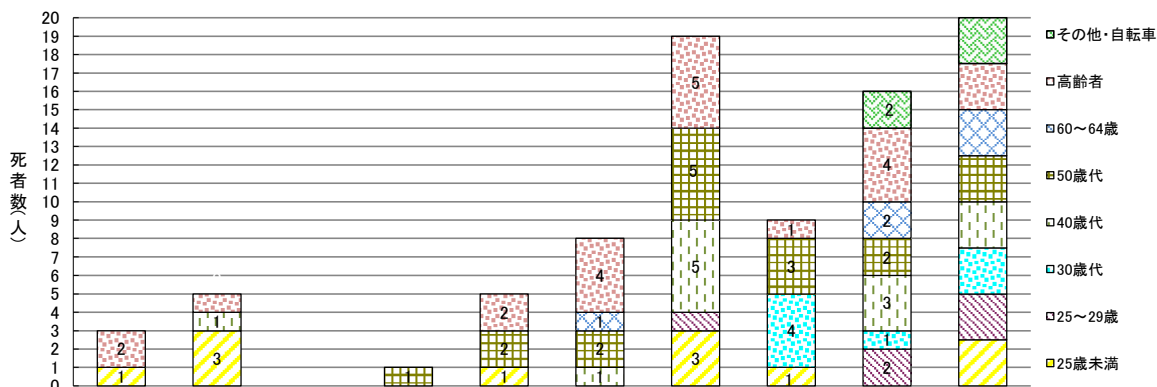
構成率は全死者に対する割合

(5) 第一当事者の違反

前方不注意が19人(28.8%)、その他(歩行者妨害を含む)が16人(24.2%)となっている。

- ・ 前方不注意は、40歳代運転者、50歳代運転者、高齢運転者による死者が各々5人(26.3%)
- ・ その他(歩行者妨害を含む)は、高齢運転者による死者が4人(25.0%)、40歳代運転者が3人(18.8%)

凡例

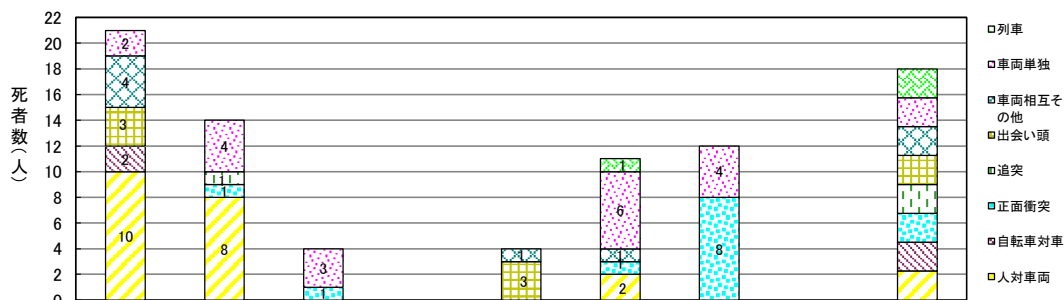


(6) 地形・道路形状別

市街地交差点が21人(31.8%)、市街地直線が14人(21.2%)となっている。

- ・ 市街地交差点は、人対車両が10人(47.6%)、出会い頭が3人(14.3%)
- ・ 市街地直線は、人対車両が8人(57.1%)、車両単独が4人(28.6%)

凡例

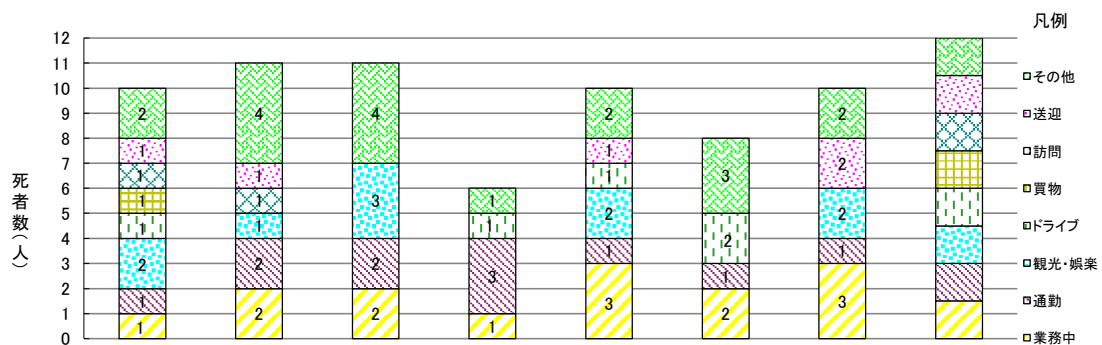


地形道路形状別	市街地				非市街地				計
区分\	交差点	直線	カーブ	小計	交差点	直線	カーブ	小計	
死者数	21	14	4	39	4	11	12	27	66
構成率(%)	31.8	21.2	6.1	59.1	6.1	16.7	18.2	40.9	100.0
過去5年構成率	28.6	17.2	4.7	50.5	5.7	23.9	19.9	49.5	100.0

(7) 曜日別

月曜日、火曜日が各々11人(16.7%)となっている。

- ・月曜日は、業務中、通勤が各々2人(18.2%)
- ・火曜日は、観光・娯楽が3人(27.3%)業務、通勤が各々2人(18.2%)

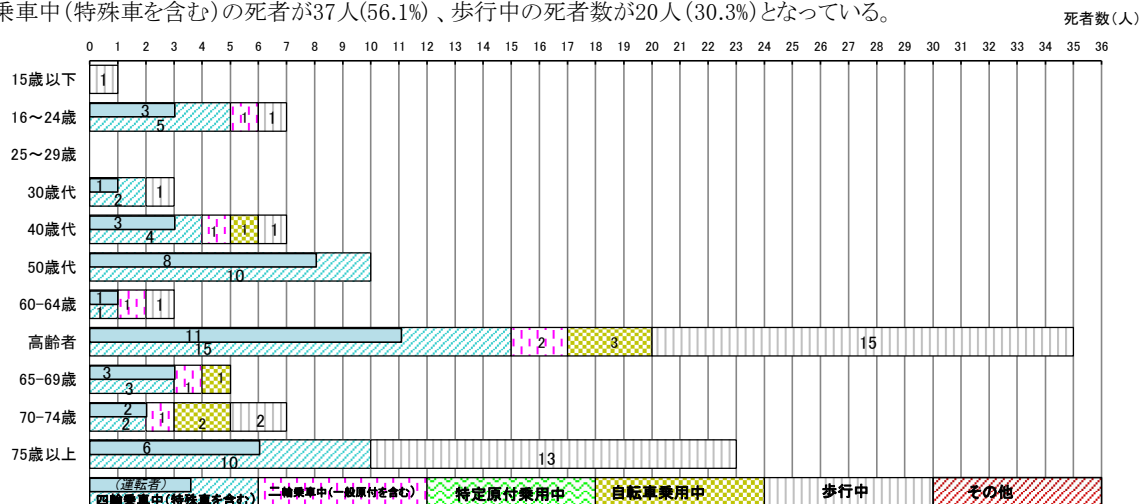


区分\曜日別	日	月	火	水	木	金	土	計
死者数	10	11	11	6	10	8	10	66
構成率 (%)	15.2	16.7	16.7	9.1	15.2	12.1	15.2	100.0
過去5年構成率	16.8	14.5	17.2	11.1	12.5	15.8	12.1	100.0

(8) 状態別・年齢層別

年齢層別死者数では、高齢者の死者が35人(53.0%)、50歳の死者が10人(15.2%)となっている。

四輪乗車中(特殊車を含む)の死者が37人(56.1%)、歩行中の死者数が20人(30.3%)となっている。



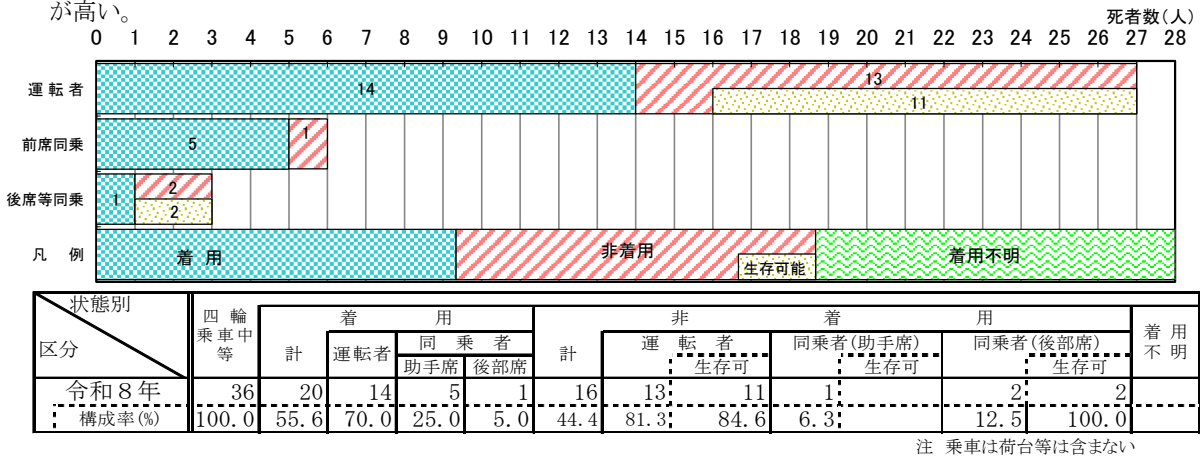
年齢層別	状態別	四輪乗車中 (特殊車を含む)	二輪乗車中 (一般原付を含む)	特定原付乗車中	自転車乗用中	歩行中	その他	計	構成率	5年構成率
15歳以下	死者数					1		1	1.5	2.7
16~24歳	死者数	5	1			1		7	10.6	4.4
25~29歳	死者数									1.7
30歳代	死者数	2				1		3	4.5	6.1
40歳代	死者数	4	1		1	1		7	10.6	9.8
50歳代	死者数	10						10	15.2	13.8
60~64歳	死者数	1	1			1		3	4.5	6.7
高齢者	死者数	15	2		3	15		35	53.0	54.9
65~69歳	死者数	3	1		1			5	7.6	12.1
70~74歳	死者数	2	1		2	2		7	10.6	11.1
75歳以上	死者数	10				13		23	34.8	31.6
計	死者数	37	5		4	20		66	100.0	
	構成率	56.1	7.6		6.1	30.3		100.0	—	—
	過去5年構成率	52.5	11.8		6.1	29.0	0.7	100.0	—	—

注 高齢者の内訳の構成率は全死者に対する割合。

(9) シートベルト着用状況別

ア 乗車区分別

四輪乗車中の死者36人中、シートベルト非着用者は16人(44.4%)となっている。
非着用者の16人のうち14人(87.5%)は、車両の破損状況等から見て、シートベルトを着用していれば生存していた可能性が高い。



イ 年齢層別

シートベルト非着用者を年齢層別にみると、高齢者が7人(41.2%)、50歳代が5人(29.4%)となっている。

区分\年齢別	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	65～69歳	70～74歳	75歳以上	その他・不明	計
シート着用	3		2	2	5		8	1	1	6		20
構成率(%)	15.0		10.0	10.0	25.0		40.0	5.0	5.0	30.0		100.0
シート非着用	2			2	5	1	7	2	1	4		17
構成率(%)	11.8			11.8	29.4	5.9	41.2	11.8	5.9	23.5		100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
高齢者の内訳の構成率は合計数に対する割合。

ウ 損傷加害部位別

シートベルト非着用者17人の損傷加害部位をみるとハンドルが6人(35.3%)、計器盤、ドア・窓、座席、室内他が各々2人(11.8%)となっている。

区分\部位別	車外放出	車外他	ハンドル	Fガラス	計器盤	ドア・窓	柱	天井	座席	室内他	シートベルト	他・不明	計
シート着用			4		1	2		1	5	2	5		20
構成率(%)			20.0		5.0	10.0		5.0	25.0	10.0	25.0		100.0
シート非着用	1		6	1	2	2			2	2		1	17
構成率(%)	5.9		35.3	5.9	11.8	11.8			11.8	11.8		5.9	100.0
運転者	1		6	1	1	1			1	2			13
構成率(%)	5.9		35.3	5.9	5.9	5.9			5.9	11.8			76.5
同乗者					1	1			1			1	4
構成率(%)					5.9	5.9			5.9			5.9	23.5

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
但し、ベルト非着用の運転同乗者別の構成率は、ベルト非着用の合計数に対する割合。